

和顔愛語「和やかな顔と思いやりの言葉」で人に接すること



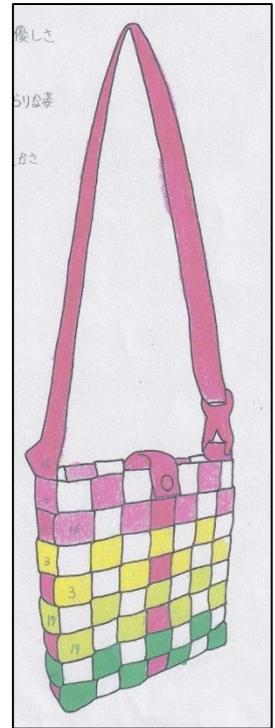
「ふるさと学習」をがんばっています!

勝間田小学校では、地域のことを地域の人から学び、地域に貢献をする「ふるさと学習」に取り組んでいます。

本年度は、3年生は、「放棄茶園と寒茶」に取り組んでいます。4年生は、「本橋テープさんと協働して、勝間田の魅力を表現したバッグづくり」に取り組み、5年生は、「誰もが安心して食べられるお米スイーツ」に取り組んでいます。また、6年生は、「地域防災」に取り組み、「子どもたちの考え運営する避難訓練」や「勝間田区の方に防災意識を高めていただく取り組み」に取り組んでいます。



そうした中、3年生の子たちが、牧之原市文化祭において、放棄茶園や寒茶について来場された市民の皆さんに、学びをお伝えする活動に取り組みました。



開会式前の市長さんや副市長さんも、子どもたちの話を聞いてくださり、開会式の市長さんのあいさつの中で、3年生のことを紹介してくださいました。

3年生の子どもたちの活動について感想をくださった方がいらしたので紹介しますね。

放棄茶園の問題は大変な問題だと感じました。小学生が問題を考えていることが、これからの牧之原市のお茶の未来を支えてくれるうれしいことだと感じます。

子どもたちが農業の問題について考えることによって、少しでも解決につながるとよいなと思いました。

子どもたちの学びが、もっと大きな輪になって解決へ進むとよいなと思いました。

寒茶クッキーをいただきました。お茶の風味が感じられて、とてもおいしかったです。

子どもたちが、放棄茶園について真剣に考え、寒茶の作り方などを一生懸命説明していて、とてもよかったです。





私は茶農家ですが、放棄茶園については、無頓着でした。子どもたちの発表を聴いて、素晴らしい感心事だと思いました。

放棄茶園をへらしたいという思いで学んでいることが素晴らしいと思いました。発表を聴いて、放棄茶園のことを調べたくなりました。

今まで、放棄茶園の葉が道路まで出ている、なんとかならないかと思っていました。

そして、今日、放棄茶園をなくそうという取り組みがあることを初めて知りました。お茶の町牧之原市にある勝間田小学校の素晴らしい活動が広がり、寒茶や寒茶クッキーがたくさん売れるようになって、放棄茶園が減ったらいいなと思いました。

今日は、教えていただきありがとうございました。

自信をもって発表している姿がかっこよかったです。

放棄茶園に着目しているところが素晴らしい。ふだん、放棄茶園を見かけても、「誰もお茶を作れる人がいないんだな」とか「どうなっちゃうのかな」ぐらいにしか思っていなかったのが、子どもたちが気づいて、行動していることに感動した。

これから、各学年の「ふるさと学習」が、まよめの時期に入ってきます。5年生は、いよいよお米スイーツの試作に取り掛かります。

6年生は、避難訓練の様子を観察し、計画に活かすように取り組んでいます。4年生は、勝間田城址祭で、バッグの注文をとるための準備に取り組んでいます。バッグも、もうすぐ試作品が完成します。



2年生は、自作のカルタで、「まち探検」でお世話になった勝間田区のほがらかクラブさんや勝間田保育園の年長さんと交流をする予定です。

また、自分たちが育てたひまわりの種を、お世話になった方にプレゼントをする活動にも取り組んでいます。

1年生も、生活科での学びを活用して、勝間田保育園さんと交流をする計画をたっています。



今年の勝間田小の重点目標は、「すきです♡ きらりな自分 きらりな友だち きらりなふるさと」です。ふるさと勝間田に、幸せを届けられるよう、がんばっている子どもたちを、ぜひ応援してあげてくださいね